

# 水戸市議会報



議会報12月定例会号は  
2月1日発行になりました

令和6年

12月定例会

No.250

2025年2月1日号

## 町内会・自治会の活動の活性化に 関する条例を制定

- 可決した議案 ..... 3
- 代表質問 ..... 4～6
- 一般質問 ..... 6～11
- 常任委員会報告 ..... 11



令和6年開催の「夜・梅・祭」の様子



120年以上の歴史を持つ「水戸の梅まつり」。2月15日～3月9日の土日祝日(18時～21時)には、新たに偕楽園「UME The Lights」を開催し、ライトアップされた梅と雲海を楽しめます。



## 水戸市議会正副議長あいさつ



議長  
大津 亮一



副議長  
高倉富士男

議会を代表し、謹んでご挨拶を申し上げます。日頃から、本市の市政運営及び議会活動に温かいご支援、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

本市においては、昨年からの第7次総合計画がスタートし、将来都市像を「こども育む くらし楽しむ みらいに躍動する 魁のまち・水戸」と定め、市民が安心して暮らせる地域社会の実現を目指しています。今年からは、各分野の施策の推進が求められる年であり、議会といたしましても、計画の実効性を高めるために執行部と建設的な議論を重ねてまいります。

また、議会改革にも鋭意取り組んでおり、昨年は、本会議傍聴席に字幕表示を導入したほか、議会ハラスメントの根絶に関する条例を制定しました。今後も市民の皆様から信頼される議会を目指し、改革の歩みを着実に進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 本年も市政の発展に努めます

池田悠紀 大津亮一 中庭由美子 土田記代美 田中真己 渡辺欽也 細谷智宏 打越美和子 マーサー川又 森智世子

滑川友理 萩谷慎一 田尻由紀子 森正慶 佐藤昭雄 後藤通子 鬼澤真彦 藤澤康二 小泉浩和

田口文明 鈴木宣子 高倉富士男 黒木富士男 綿引木 袴塚孝 安藏 松本勝久

(議席順)

## 定例会あらし



### 会期

12月2日から17日までの16日間

### 議員質問

・代表質問5名(4~6ページ参照)  
・一般質問19名(6~11ページ参照)

### 委員会付託議案

- (1)各常任委員会における議案等の審査
- (2)各常任委員長による委員会審査の経過並びに結果の報告(11ページ参照)
- (3)討論 反対1名
- (4)採決 原案のとおり可決承認

### 人事案件

・市長追加提出の人事案件1件を同意(3ページ参照)

### 選挙

・水戸市選挙管理委員会及び同補充員の選挙を実施(3ページ参照)

### 意見書

・議員提出の意見書4件を可決(3ページ参照)

### 請願・陳情

- (1)文教福祉委員長による請願審査結果の報告
- (2)令和6年請願第3号を採択、令和5年請願第3号を不採択、令和5年陳情第9号をみなし採択(3ページ参照)
- (3)陳情の閉会中継続審査を決定

### 議員派遣

・茨城県市議会議長会議員研修会への議員派遣を決定

### 閉会中所管事務調査

・各常任委員会等の閉会中所管事務調査を決定



本会議の様子

## 可決した議案等



市長提出議案	計	20件
令和6年度補正予算	1件	
条例の制定・改正・廃止	10件	
その他	9件	

今定例会で可決した主な議案等

**令和6年度一般会計補正予算(5号)**  
**◆補正総額** 7億9568万円増  
**主な内容**

- ・財政調整基金への積み立て
- ・イノシシなど有害鳥獣の捕獲頭数の増加による事業費の追加
- ・新設する文化財保護基金への寄附金の積み立て

### 町内会・自治会の活動の活性化に関する条例

町内会・自治会活動の更なる活性化を図るため、基本理念、市及び町内会・自治会の責務等を定める新たな条例を制定するもの

### 文化財保護基金条例

解散した一般財団法人日新塾精神顕揚会からの寄附金を原資として、新たに文化財保護基金を設置するため、条例を制定するもの

### 男女平等参画センター条例の廃止

みと文化交流プラザの改築により、令和7年度から男女平等参画課を市役所本庁舎内に移転することに伴い、条例を廃止するもの

### 市営住宅及び特定市営住宅条例の一部改正

特定市営大山台住宅を子育て世帯向け住宅として指定することに伴い、入居要件や家賃等を定めるため、関係規定の整備を行うもの

### 工事請負契約の締結

酒門小学校校舎増築工事について、契約金額及び相手方を決定するもの

### 人事

水戸市固定資産評価審査委員会委員  
椎名 操

### 選挙

水戸市選挙管理委員

秋葉 欣二  
 小林 由香里  
 小島 睦  
 森田 子  
 水戸市選挙管理委員補充員  
 根本 一夫  
 小森 局  
 鈴木 健秀  
 萩谷 孝男

## 可決した意見書



議員提出議案として、次の意見書を可決しました。

- 1 下水道の維持管理・更新におけるウォーターP P P導入に向けての丁寧な対応を求める意見書
- 2 地域における子ども誰でも通園制度の拡充等を求める意見書
- 3 公立小・中学校及び義務教育学校体育館への空調設備整備に係る財政支援の強化を求める意見書
- 4 刑事訴訟法の再審規定を改正し、冤罪被害者の迅速な救済を求める意見書

## 請願・陳情の結果



- 【採 択】** ○令和6年請願第3号 市立小学校の給食費完全無償化を求める請願  
 本請願については、市長に送付し、その処理の経過及び結果の報告を請求すべきものと審査決定した。
- 【みなし採択】** ○令和5年陳情第9号 小学校の学校給食費無償化を求める陳情  
 本陳情については、同趣旨の令和6年請願第3号が採択されたことに伴い、採択とみなす取り扱いとした。
- 【不 採 択】** ○令和5年請願第3号 健康保険証の廃止をしないよう求める意見書を政府に送付することを求める請願書  
 本請願については、願意に沿いがたく不採択とした。



誠和水政会



市町村広域合併に対する

市長の思いは

Q 各自治体で人口が極端に減少することが予測される。そうなる前に

市町村の広域合併を進め、行財政基盤の維持を図るべきであり、それが都市の魅力の拡充や人口の流入超過・維持につながるかと考える。

(1)合併のメリット・デメリットと、(2)市長の合併推進への思いを伺う。

A (1)合併により、財政基盤が強化されるとともに、多くの権限が付与され、より安定した行財政運営が可能となる。事務所機能の集約により住民の声が届きにくくなる、手続が不便になる等のデメリットは、市民懇談会の開催やデジタル化の推進により解消できる。(2)市の持続的な発展のため、政令指定都市を展望した広域合併に向けた取組を推進すべきと考えている。今後も時機を捉え、県央地域の各市町村長に意向を伺うとともに、自らが牽引役となり、積極的に機運醸成を図る。

違法な客引き行為を防止する

効果的な対策を

Q 大工町周辺の繁華街では、いまだに違法な客引き行為が続いている。

歩道だけでなく車道に出での客引き行為等は、一般の方に恐怖を与えるものであり、たばこの投げ捨てや空き缶の放置等は、衛生や景観の面からも問題である。悪質な客引き行為について、更なる対策や適切なルールづくりが必要と考えており、見解を伺う。

A 大工町周辺に顔認証を可能とするAIカメラの画像解析技術を活用した迷惑行為検知システムの導入を図り、客引き行為をする者の情報を積み重ね、警察と連携して検挙に向けた取組を強化する。さらに、県の迷惑行為防止条例の運用状況等も注視しつつ、他自治体における客引き防止対策の優良な取組について、引き続き情報収集に努める。



大工町繁華街

その他の質問

- 令和7年度予算の編成方針は
- 国による103万円の壁の見直しの影響は
- 道の駅設置に向けた積極的な検討を
- 下水道使用料の見直しに対する考えは
- ネーミングライツの更なる導入促進を

魁、水戸



ごみ処理手数料の在り方に関する

検討状況は

Q 物価高騰が続く現状において、ごみ処理手数料は、市民の負担を考慮しつつ、先を見据えた適正な金額に設定しなければならぬ。手数料改定の際は、市民理解を得られるよう丁寧な説明と、1年程度前からの周知が必要である。ごみ処理手数料の今後の在り方に関する検討状況を伺う。

A ごみ処理に係る経費は、近年の人員費や燃料費の高騰により、増加傾向となる見通しである。ごみ処理手数料の改定については、受益者負担割合などについて審議を行っている廃棄物減量等推進審議会からの答申を踏まえるとともに、市民の生活事情も加味しながら、慎重に対応していく。議員指摘のとおり、手数料改定の際は、十分な周知期間を設け、市民や事業者に理解をいただけるよう丁寧な説明を行う。

小学校給食費無償化の見直しは

Q 市はこれまでの小学校給食費無償化を求める質問に対し、限られた財源の配分をこども・子育て施策

にシフトさせる歳出構造改革を推進し、市長の今任期中に完全無償化を実現すると答弁している。今後の見直しについて伺う。

A 昨年度から市立中学校給食費の完全無償化を実現し、今年度は市立小学校の給食費を2分の1に減額した。また、物価高騰の中でも、質や量を落とすことなく魅力ある学校給食を提供するために、食料費の公費負担を拡大して対応している。子育て世帯の経済的負担の更なる軽減のためにも、徹底した行財政改革に取り組み、市立小学校給食費の完全無償化を令和7年度から実施する。完全無償化後も、引き続き、質や量を落とすことなく栄養バランスのとれた学校給食を提供していく。



学校給食

その他の質問

- 国内の都市間交流の成果と今後の展望について
- 友好交流都市協定を結んだ台南市との交流について
- 民間連携によるスポーツ交流拠点の形成について
- 下市地区の浸水対策の現状と対応について
- 行政と議会の在り方について

## 公明党水戸市議会



### 妊産婦マル福制度の所得制限撤廃に対する見解は

**Q** 市が実施する妊産婦マル福制度は、健康保険加入中の妊産婦の医療費を一部助成し、妊娠・出産期の経済的負担を軽減する大変有意義な制度である。しかし、所得制限を要件とすることから、助成の対象にならない方もいる。少子化が進む中、より多くの方が安心して子どもを生むことができるよう、妊産婦に対する支援を一層推進することが必要と考える。当該制度の所得制限撤廃に対する見解を伺う。

**A** 議員提案は市民に寄り添った有効な支援策と考える。厳しい財政状況ではあるが、令和7年度中に所得制限を撤廃し、全ての妊産婦が医療費助成を受けられるようにする。今後子育て世帯にやさしく、安心して子どもを生み育てることができ、若い世代に選ばれるまちの実現を目指し、こども・子育て支援の更なる充実に取り組みむ。

### 小中学校体育館への空調設備の導入に向けたスケジュールは

**Q** 令和6年3月定例会にて、学校体育館への空調設備の整備を第7次総合計画に位置付け、前期計画の

期間中に全校へ設置すると市の長答弁があった。近年の猛暑から子どもたちの命を守るとともに、避難所施設としての機能を強化するため、円滑かつ早期に導入すべきと考える。今後のスケジュールや整備の優先順位について伺う。

**A** 全ての小中学校を3つのグループに分け、令和7年度から順次、実施設計、工事に着手し、10年度までの整備完了を目指す。整備順序については、授業や部活動など、学校運営における体育館の利用時間を考慮するとともに、避難所の機能面において地域間で偏りが生じないように、中学校から整備する方針である。小学校については、体育館の利用頻度や洪水時の避難の在り方等を考慮して決定する。



学校体育館(見川小中学校)

**その他の質問**

- 災害対応拠点の耐震化と応急仮設住宅の設置基準は
- 小学校給食費の完全無償化の早期実施を
- 男女平等参画センターの在り方と今後の環境整備は
- 人口減少社会における土地利用の在り方は
- 水戸市版教育デジタルボードの小中学校への展開は

## 日本共産党水戸市議団



### 通級指導教室の増設と小学1年生全員のスクリーニング検査実施を

**Q** (1)現在、LD/ADHD※1の児童生徒を支援する通級指導教室が浜田小学校と第三中学校に設置されている。しかし、浜田小では既に定員を超え、第三中の利用者数も増えている。学習障害等の児童生徒やその保護者のために拡充は待たなしであり、早急な増設を求めたい。 (2)読み書きに困難があるかを判定するスクリーニング検査が、昨年度、浜田小の1年生を対象に実施され、早期発見・支援につながった。学校間で差が生じないよう全小学1年生への実施を求める。

**A** (1)保護者のニーズや地域バランスを考慮して設置校を選定し、新設に向けて検討している。今後、教員の加配等を県に要望する。(2)市内への段階的な拡充を検討する。

### 保育所運営や保育士確保の支援と市立保育所の存続・充実を

**Q** (1)民間保育所では、物価高騰の影響で厳しい運営を強いられている。特に食料費の高騰が給食費値上げにつながる懸念がある。国の交付金を活用して支援すべきと考えるがどうか。(2)保育士不足が大

きな課題となっており、多額の費用をかけて人材を紹介してもらう場合もあると聞く。保育の充実のため、より一層の保育士確保策の拡充や処遇改善を求める。(3)市は11か所ある市立保育所の再編を進める方針だが、地域における子育ての相談支援機能など、その役割も評価する必要がある。老朽化した保育所の改修・改築に取り組むべきであり、存続を強く求める。

**A** (1)施設型給付費の算定基礎となる公定価格に物価上昇が反映されるよう国に要望する。(2)ハローワークと連携した保育の職場見学ツアーを実施予定であり、更なる確保に努める。(3)入所希望者の少ない市立保育所の廃止や統合も含めて、今年度中に再編方針を策定する。



市立保育所(白梅)

**その他の質問**

- 東町運動公園体育館の改修に係る市の負担は
- 千波公園パークPFI事業の費用負担の考え方は
- 東海第二原発の再稼働には速やかに反対の表明を
- 防潮堤の施工不良について原電への厳しい追及を
- ユニバーサルデザインフォントの使用推進を



立憲みと



みと文化交流プラザ解体後の  
施設の整備内容は

施設

**Q** みと文化交流プラザは今年度で運営を終了し、来年度から解体に向けて進むと聞いている。五軒市民センターや男女平等参画センター等が入る複合施設であることから、地域の方や施設を利用していただくなどに対して、建て替えの内容について、時間をかけて丁寧に説明する必要がある。施設の整備計画や工事スケジュール、工事中の仮事務所について伺う。

**A** みと文化交流プラザの解体後は、五軒市民センターを単独施設として平屋建てで整備する。施設の機能性やレイアウトは五軒市民センター建設検討委員会において協議をしていく。来年度から仮事務所とする国際交流センター内へ移転し、施設の解体や設計を進め、令和10年度中の供用開始を目指す。

結婚新生活支援補助金の  
対象者拡大を

対象者

**Q** 結婚新生活支援補助金は、新生活をスタートする新婚世帯の経済的負担を軽減するため、新生活に伴う住宅取得や引っ越しの費用等を補助するものである。夫婦ともに

39歳以下の場合には最大30万円、29歳以下の場合には最大60万円の補助が受けられる。財源は国の交付金を活用しているが、いばらきパートナーシップ宣誓者は、国の定める交付対象に該当しない。パートナーシップ制度の利用件数から想定すると、市の自主財源での対応も十分可能であると考えられる。そこで、いばらきパートナーシップ宣誓者も交付対象に含めるべきではないか。対象を拡大すれば、国補助制度の枠組みを活用している自治体としては、県内初の試みとなる。見解を伺う。

**A** 来年度から、事業対象にいばらきパートナーシップ宣誓者を含めることとし、婚姻届を提出した夫婦と同額の支援を実施する。



婚姻届記念撮影コーナー

**その他の質問**  
○市営ドッグラン設置の考え方は  
○ペットとの避難を想定した広域避難計画を  
○学校給食費無償化における質の担保を  
○いばらきパートナーシップ宣誓者への行政サービスは

第10回水戸黄門漫遊マラソンを  
記念大会としては



**Q** 10月27日に第9回水戸黄門漫遊マラソンが盛大に開催され、1万人を超えるランナーが水戸のまちを駆け抜けた。本大会は、多くの方々により本市の魅力を知っていただく大変貴重な機会である。節目となる第10回大会を迎えるに当たり、積極的な予算措置を講じ、フルマラソンのほか、3km、5kmの部の復活等、子どもたちも参加しやすい記念大会にすべきと考えられる。第10回大会の展望について伺う。

**A** 節目の大会と位置付け、記念企画を実施したい。現在、記念大会専門部会を立ち上げ、協議を重ねている。親子でマラソンコースを楽しんでもらえる関連イベントや、特別感のある参加賞、ランナーにエールを送る新たな演出などにより、本大会がより市民に親しまれ、長く続いていく取組を実施する。



第9回大会の様子

**その他の質問**  
○就労環境を守るカスタマーハラスメント対策は  
○カスタマーハラスメント防止条例制定への見解は  
○増加する特殊詐欺被害の現状分析と本市の対策は

小学校給食費の早期の無償化と  
給食の内容・質の更なる充実を



**Q** 中学校の給食費は昨年度から無償になり、小学校は今年度から半額になった。新日本婦人の会水戸支部からは、小学校の給食費無償化を求める陳情が議会に提出された。給食費無償化の動きは県内外で広がっており、本市でも直ちに小学校給食費を無償化すべきである。また、我々が令和6年に実施した市民アンケートや市民から聞く意見では、給食費無償化に加え、給食の内容と質の更なる充実を求める声も多い。内容と質を高め、食育を推進する取組を伺う。

**A** 市立小学校給食費の完全無償化を来年度から実施する。これまで、地場産物の活用や、国内外の伝統料理を取り入れた献立等で食育を推進してきた。今後も、質や量を落とすことなく栄養バランスのとれた魅力ある学校給食を提供する。



学校給食

**その他の質問**  
○はりきゅうマッサージ助成券を年5枚から12枚へ  
○市営住宅の18歳からの入居を認め全室に風呂釜設置を  
○赤塚駅南口駐輪場の雨天対策と自転車ラックの修繕を

## 「仮称」水戸藩野菜」 ブランド化の推進を

渡辺 欽

## くれふしの里古墳公園の 適切な維持管理を

谷 智

## 町内会の活動の活性化のため 業務負担の軽減を

谷 慎

## 「学びの多様な学校」の 市立小中学校への導入は

森 智世子

Q 先日開催した全国ねぎサミットでは、多くの方に来場をいただき、水戸の誇る「水戸の柔甘ねぎ」を全国に発信できた。本市には全国に誇る農産物が多数あることから、地元野菜に「仮称」水戸藩野菜」などの強いブランド名を冠して、消費者ニーズに合わせた商品開発を行い、地域農業と観光、歴史との連携を強く推し進めるべきである。ブランド化の推進により、消費者の認知度を高め、フードロス削減にもつながり、市場競争力を強化できると考える。見解を伺う。

A 水戸らしいブランド野菜を創出し、所得向上や新規就農者の確保等を図るため、県やJA水戸と連携し、課題を整理する。有利販売につながる作物の選定や生産基準等を検討し、水戸ならではのブランド野菜の確立までの道筋を明確にする。

Q くれふしの里古墳公園は、日本一巨大な埴輪「はに丸タワー」や前方後円墳等の多くの古墳があり、内原地区のシンボルの要素を持つ公園として多くの方に親しまれている。遊具広場にはシーソー、ターザンロープ、滑り台等が設置されているが、そのほとんどが経年劣化による破損で使用できない状況にある。遊具の修繕を強く要望するとともに、今後の対応を伺う。

A 当公園の果たすべき役割を回復させるため、破損箇所等を早急に改善しなければならぬと認識している。7水総の重点プロジェクトに位置付けたことも活動しやすい環境づくりとして、子どもの遊び場の充実を図るため、再整備の検討を積極的に行う。今後、子どもたちが楽しく遊び、皆様に愛される公園づくりに努める。

Q 町内会本来の活動を活性化し、加入率の向上を図るには、町内会が任意団体であるという前提に立ち、業務負担を見直す必要があると考える。(1)防犯灯は社会的インフラであり、市の一括管理が望ましい。少なくとも町内会の費用負担はゼロにするべきでは。(2)ごみ集積所等に長期間放置されている悪質なごみは、市の責務として収集するべきでは。(3)各種寄附金等の集金に際しても市の支援が必要では。

A (1)段階的に維持管理の補助金を増額するなど、負担軽減に向けた検討を進める。(2)注意喚起の掲示や利用者へのパンフレット配布のほか、必要に応じて管理者等に対する直接の指導を行っている。(3)市HPで公表している町内会・自治会の運営の手引きにおいて、優良事例を負担軽減策として紹介する。

Q 国は2030年度までに、不登校の子どもに合わせて授業内容や授業時間を柔軟に設定できる「学びの多様な学校」を、全国で300校に増やす目標を掲げている。市内では、私立のリリーガーデン小学校が令和7年4月に開校予定であり、公立小中学校においても開校を目指す自治体が増えている。全ての子どもが平等に多様な学びの場を得られるよう、本市も早期導入を検討すべきと考える。見解を伺う。

A 本市では、不登校児童生徒への支援として、全市立中学校に校内フリースクールを設置し、学習や交流のスペースを整備した。今後は小学校への段階的な設置に向け、課題等を精査しながら進める。議員提案には精査すべき課題があるため、引き続き先進事例の成果や問題点等について調査研究する。



全国ねぎサミットと水戸の柔甘ねぎ

### その他の質問

- 市全体における観光案内看板設置の進捗は
- 水戸の歴史・文化偉人像の設置状況は
- 総合的な観光案内ツール導入の検討を



くれふしの里古墳公園

### その他の質問

- 転作物助成に対する市の見解は
- 鯉淵地区における野犬の現状と今後の対策は



町内会のごみ集積所

### その他の質問

- 地域における街頭防犯カメラの設置を
- 市職員の適正な時間外勤務管理と人員配置を



多様な学び(イメージ)

### その他の質問

- 市内にある小規模特認校の周知をすべきでは
- 下市地区にある柳堤荘の改修スケジュールは
- 都市機能誘導区域(下市地区)の拡大理由と効果は



利用者のニーズに沿った  
堀斎場の施設改修を

たじり  
田尻  
由紀子

**Q** 堀斎場は、設置から48年が経過し、設備や火葬炉等が老朽化している。市民から待合棟へのWiFi設備設置の要望もあり、高齢者や障がいのある方などに配慮した施設のバリアフリー化など、利用者のニーズに沿った長寿命化改修が望まれる。また、昨今の葬儀の規模や方法の多様化にも配慮が必要である。今後の施設改修に向けた基本的な考え方を伺う。

**A** 来年度から順次、工事等を進め、令和15年度の工事完了を目標としている。施設のバリアフリー化はもとより、ユニバーサルデザインを取り入れ、誰もが使いやすい施設となるよう努める。WiFi設備の設置等について検討を進め、更なる利便性の向上を図る。全ての利用者にやさしく、安らぎを感じられる斎場の改修等を進める。



堀斎場

その他の質問

- 在宅見守り安心システム事業について
- ・利用状況や利用者の評価、市民周知は
- ・サービスやオプションの拡充を

HPVワクチン接種の  
より丁寧な周知を

くろき  
黒木  
勇

**Q** (1)当初、キャッチアップ接種※2は、今年度終了予定であった。国では、令和7年3月までに1回以上接種すれば、さらに1年間、公費で接種を受けられる経過措置の検討を進めている。令和7年2月頃までに、未接種者に制度変更の個別通知をすべきである。(2)定期接種については、より丁寧な周知が必要である。個別通知を複数回行うことが効果的と考える。見解を伺う。

**A** (1)3回の接種が完了していない対象者に個別通知を送付する準備を進めている。国の動向を注視し、丁寧な周知に努める。(2)効果的な発出方法を検討し、案内通知の複数回実施に向けた準備を進める。ワクチンの有効性や安全性を理解し、安心して接種を受けられるよう、丁寧で分かりやすい情報発信に努める。



ワクチン接種(イメージ)

その他の質問

- 水戸ブランド特産品の生産強化と観光振興を
- 主要道路整備・酒門工区の延伸整備進捗は
- 主要道路・町付交差点及び周辺の安全対策は

終活情報の  
事前登録制度の実施を

すずき  
鈴木  
宣子

**Q** 単身世帯の高齢者など人生の終末期に不安を抱える方が増えている。市民の終活サポート事業として、家族・親族の住所録や医療、介護が必要になった際の対応等を書いておけるエンディングノート<sup>1</sup>の保管場所などの終活情報を市で事前登録する制度が必要と考える。高齢者の方々の将来に対する不安を少しでも取り除き、残りの人生をよりよく生きていただくための取組状況を伺う。

**A** 終活情報の事前登録制度は、人生の終末期における高齢者の不安を軽減する有効な取組であることから、第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画に実施する旨を位置付けた。令和7年度中の実施を目指す。登録方法の整理や効果的な周知方法の検討など、より有効な取組となるよう制度設計を進める。



エンディングノート(窓口で無料配布)

その他の質問

- 放課後学級の運営と質の向上について
- ・委託業者の運営に対する認識と助言指導は
- ・質の向上に向けた事業者の選定方法の再考を

生物多様性の象徴  
コウノトリが舞う水戸へ

まーさ  
マーサ  
川又

**Q** 11月16日、国の特別天然記念物であるコウノトリ2羽が、水戸英宏小・中学校が管理するビオトープ周辺に飛来した。コウノトリは一度野生絶滅し、保護活動から50年に当たる平成17年の「コウノトリ未来・国際かいぎ」の放鳥式典で、秋篠宮殿下が野生復帰第1羽目を放鳥し、現在383羽まで回復した。今回はそのうちの2羽と思われる。コウノトリは1日500g以上の生きエサが必要で、生育できる環境は生態系が豊かな証である。自然環境の再生や保全等を行うビオトープ管理士の立場から、コウノトリも住める環境保全、ビオトープに関する考えを伺う。

**A** 今後とも、ビオトープづくり等の関連施策に、より一層取り組み、多種多様な生物が生息する豊かな自然環境の保全に努める。



コウノトリ

その他の質問

- 狭い道路の拡幅制度の内容と現状は
- 防災士の活動に関する現状や今後の展開は
- 地区計画の積極的な策定推進を

※2 キャッチアップ接種…HPV(ヒトパピローマウイルス：子宮頸がんをはじめとした多くの病気の発生に関わる)ワクチンの積極的勧奨の差し控えにより、定期接種の期間が過ぎてしまった方に、従来の定期接種の対象年齢を超えて予防接種を行うこと。

「水戸だけ夏休みが短い」という不満解消のために

池田 悠紀

**Q** 教職員から「水戸だけ夏休みが短い」と不評である。平成16年度に英会話教育特区の指定を受けたことを機に夏休みが短くなったが、短縮せずとも標準授業時数には到達する。本市での勤務を希望する教職員が少ない現状を好転させるため改善すべきと考える。見解を伺う。

**A** 国や県では、児童生徒と向き合う時間を確保するため、過度な授業時数の設定をしないこと等の提言がなされ、本市も学校へ助言指導するよう求められている。教育課程編成の改善等で創出した時間と8月の授業日の5日間を活用して取組を推進する。従来の6時間授業日を5時間授業日に変え、放課後の時間を学習相談や職員研修、不登校児童生徒への対応等に活用することで、児童生徒に寄り添った支援につながると期待している。



**その他の質問**

- 弘道館・偕楽園を活用した校外学習の全校実施を
- 子連れ投票促進など投票率向上を図る取組を
- 故・杉浦茂峰少尉の功績の更なる周知を

市街化調整区域に地区計画を指定して土地の有効活用を

澤寿 鬼真

**Q** 昭和46年の都市計画法の施行以来、現在でも本市の全体面積の約8割が市街化調整区域である。乱開発を防ぎ、土地を守るという趣旨は理解できるが、時代も変わり、農業の担い手が不足し、集約も難しく、休耕地も増えている。そこで、市街化調整区域を有効活用するため、地区計画を指定することで、住宅や事業所等の誘導が可能になる施策を提案する。見解を伺う。

**A** 令和2年度には、開発行為の許可基準を緩和し、集落出身者以外でも専用住宅の建築を可能とした。議員提案の市街化調整区域における地区計画の指定については、既存集落の維持や良好な住環境の確保に有効な方策と考える。新たな都市計画マスタープランに示す土地利用の方向性を地域の方々と共有し、ニーズを捉えながら進める。



市街化調整区域の農地

**その他の質問**

- 地域コミュニティの活性化を
- 市立小中学校における救急搬送の状況は
- 学校が救急搬送要請をためらわないよう制度の整備を

女性の健康づくりに向けた骨粗しょう症検診の取組は

藤子 後通

**Q** 女性の健康づくりには、女性特有のがん、骨粗しょう症等の検診受診が重要である。骨粗しょう症検診については、20〜30代の受診推進策を検討すると聞いており、(1)受診者数の推移と、昨年度から乳がん検診とあわせて検診を実施した成果、(2)受診勧奨の取組を伺う。

**A** (1)令和4年度は1686人、5年度は1523人で、そのうち20〜30代は約8%であった。6年度は10月末現在912人で、前年同時期を上回った。(2)母子保健事業におけるチラシ配布、健康教育など、早い段階での勧奨に努めている。若い世代へのアプローチとして、市HP等での予防対策の情報発信や、市内大学等での子宮頸がん検診とあわせた周知、健康イベントでの骨密度測定の実施など、女性の健康づくりを推進する。



骨粗しょう症予防の健康づくり(イメージ)

**その他の質問**

- 市民の命を守る防犯対策強化について
- ・ボランティアやパトロール車の活動状況は
- ・闇バイト等のネット犯罪防止の取組は

みと文化交流プラザは拙速な廃止ではなく存続を

土田 記代

**Q** みと文化交流プラザは、市民の文化活動拠点の一つとして、長年にわたり多くの利用者に親しまれ、活用されている。今定例会において本施設廃止の議案が提出されたが、この決定過程において議会で議論はなく、市民や利用者の声を聞くことも全くなかった。利用者の方たちは来年度からどこへ行けばいいのか。本施設は市の文化醸成になくてはならない施設である。拙速な施設廃止ではなく、市民や利用者の願いに応え、現在の施設と同規模で改築するか、同様の施設を再整備して存続することを強く求める。見解を伺う。

**A** 令和7年度から解体工事に着手する。クラブやサークル活動への貸室業務は休止するため、本施設の利用休止及び他の市民センターの利用をしっかりと周知する。



施設に貼り出された貸室業務中止のお知らせ

**その他の質問**

- 野良猫の不妊措置事業は市が実施を
- ハラスメント相談体制に第三者機関設置を
- 市道112号線等の生活道路に安全対策を



マイナンバーカード更新の  
市民に分かりやすい周知を



Q 令和6年12月2日から、新規での健康保険証の発行がなくなり、今後、マイナ保険証の利用が増えると思われる。マイナンバーカードの電子証明書の有効期限が切れていると、医療機関の窓口で利用できないことから注意を要する。カード自体に有効期限が記載されているものの、更新手続を含め、改めて市民に分かりやすい周知が必要と考える。見解を伺う。

A カードに記載の電子証明書の有効期限は、発行から5回目の誕生日前には封書により通知するなどしているが、今後、病院や薬局で期限切れに気づくケースが増えると思われる。本市でも混乱が生じないように、様々な手段を活用して注意を呼びかけるなど、更新手続について更なる周知の強化に努める。

災害時避難行動要支援者と  
避難先とのマッチングを



Q 災害時避難行動要支援者制度の登録者の中には、在宅での酸素吸入や人工呼吸器の利用など、医療的なケアが必要な方もいることから、要支援者と避難先である福祉避難所とのマッチングが必要と考える。今後に向けた見解を伺う。

A 現在の避難行動要支援者名簿への登録者数は約3900人であり、このうち医療的なケアを受けている方については、十分な電源を確保できる避難先とのマッチングが必要と認識している。個々に必要とする医療的なケアの内容を十分に把握しながら、医療、福祉などの関係機関や民間事業者等との連携により、個別の避難計画を作成するなど、丁寧に対応していく。また、災害時の受け入れ体制の強化に向け、福祉避難所の拡充についても検討する。

内原高齢者センターの改修と  
温浴施設の設置を



Q 健康長寿社会の実現に向けた福祉施策の推進は市の責務であり、高齢者の憩いの場となる施設を各地域に整備すべきと考える。内原高齢者センターは建築から30年以上経過し、設備等の老朽化が著しく、高齢者クラブの役員の方々からは改築等の要望が出ている。今後、市として当該施設をどのように運用し、改修していく方針なのか伺う。また、改修に当たっては、内原町合併20周年を記念して、他の地域のいきいき交流センターと同様に温浴施設の設置を提案する。議員指摘のとおり老朽化が進んでいることから、改修を含めた対応の検討が必要と認識している。緊急的な修繕は随時対応することとし、大規模な改修等については、他の高齢者福祉施設の老朽化の状況も勘案しながら検討する。

A (1)膨大な量の出土遺物の整理等に時間を要しているが、着実に作業を進める。地域の方々には説明の場を設け、意見を伺いながら整備に向け取り組む。(2)渡里湧水群は、「渡里湧水群を活かす会」の尽力で、すばらしい景観に整備されている。人々の手により保全、形成された湧水群の自然景観や、地域の活動は、地域文化財制度の趣旨に合致する。説明会の開催や同団体との協議を進め、認定に向け取り組む。

台渡里官衙遺跡群整備の進捗と  
渡里湧水群の地域文化財認定を



Q (1)国指定史跡の同遺跡群には、公園の少ない渡里住民から史跡公園整備が渴望されている。整備には地域の意見を取り入れていただきたい。進捗を伺う。(2)平成29年度創設の地域文化財制度に、導水管等の産業遺構が残り、県内で初めて内閣総理大臣賞を受賞した渡里湧水群エリアを認定してはどうか。

A (1)膨大な量の出土遺物の整理等に時間を要しているが、着実に作業を進める。地域の方々には説明の場を設け、意見を伺いながら整備に向け取り組む。(2)渡里湧水群は、「渡里湧水群を活かす会」の尽力で、すばらしい景観に整備されている。人々の手により保全、形成された湧水群の自然景観や、地域の活動は、地域文化財制度の趣旨に合致する。説明会の開催や同団体との協議を進め、認定に向け取り組む。



マイナンバーカード(見本)

その他の質問

- 新館長を迎えた水戸芸術館の今後の運営方針は
- 子育て世帯が利用しなくなる魅力的な図書館運営を
- 中央図書館の来館者のため五軒町駐車場の活用を



当該制度のチラシ

その他の質問

- 上大野地区など長引く狭い道路整備の見通しは
- がん検診の現状と肺がん検診へのCT検査導入は
- 保護者のため放課後学級は19時まで時間延長を



内原高齢者センター

その他の質問

- 公園や街路等における樹木の剪定基準は適切か
- 主食用米と飼料用米の価格差による減収の補填を
- 市道内原8-0164・0144号線の拡幅を



豊かな自然と多くの見どころを有する渡里湧水群

その他の質問

- 市職員の良い在庁管理について
- ・出勤管理システムの全庁的な導入を

第一中学校・県道区間は  
早期の対面通行開始を



Q 都市計画道路3・4・5号借楽園公園上水戸線について、(1)第一中学校・県道赤塚馬口労線の区間での整備は完了しているが、ポールやガードレールが設置され、一方通行となっている。対面通行ができないのはなぜか。早期の供用開始に向けた今後の予定を伺う。(2)県道赤塚馬口労線・上水戸地区間の事業の延伸計画について伺う。

A (1)県道赤塚馬口労線・石渡産婦人科付近の区間が未整備であり、警察協議により、現状の変則的な交差点のままで供用はできないとのことから、一方通行での供用が続いている。今後、地域の理解や協力を得ながら交差点改良を実施し、令和7年度内の完成を目標に事業を進める。(2)市内の各都市計画道路の整備状況を踏まえ、優先順位を見極めて段階的に整備を進める。



一方通行となっている区間(写真奥)

その他の質問

- 県庁周辺の土地利用制限の状況は
- 公契約の管理や評価方法、職種の判断基準は
- 学校等でのいじめ防止対策と課題は

文教福祉委員会



文化財保護基金条例

**主な質疑** 一般財団法人日新塾精神顕揚会からの寄附の経緯、寄附金の活用方針、日新塾跡等の周知の取組状況など

**主な意見** 寄附金の活用に当たっては、寄附者の意向を十分踏まえ、本市文化財の保護はもとより、日新塾跡等の効果的なPRにも取り組まれない。また、当該基金を将来にわたって活用できるよう、様々な財源確保策についても検討されたい。

全会一致 賛成

総務環境委員会



男女平等参画センター条例の廃止

**主な質疑** 男女平等参画センターの役割と今後の在り方、移転に至った経緯、条例の廃止に伴う男女平等参画事業への影響、関係団体との事前協議など

**主な意見** (1)同センターが設置された経緯やこれまでの活動を踏まえ、男女平等参画行政の更なる強化を図ること。(2)男女平等に関する活動の支援継続はもとより、時代に即した男女平等参画に係る施策の充実を図ること。

賛成多数

建設企業委員会



市営住宅及び特定市営住宅条例の一部改正

**主な質疑** 特定市営大山台住宅の家賃の設定及び減額の考え方、入居者公募の周知方法、入居者の選考方法、住宅の整備スケジュール、市営砂久保住宅における実績など

**主な意見** 子育て世帯向け住宅のニーズが高まっていることから、必要とされる方に情報が届くよう、入居者公募の周知徹底に努められたい。

全会一致 賛成

産業消防委員会



令和6年度一般会計補正予算  
(産業消防委員会所管分)

**主な質疑** イノシシなどの有害鳥獣の被害状況及び捕獲頭数、補正額の積算根拠及び財源、猟友会の現状、他自治体における報償費や食肉利用の事例など

**主な意見** 有害鳥獣による農業被害は農業従事者にとって大変深刻な問題であることから、執行状況の把握に努め、必要な予算措置を講じられたい。

全会一致 賛成

各党派等の構成メンバー

党派等の構成が変更になりました。  
(令和6年10月1日変更)

国民民主党 代表兼会計 佐藤昭雄	幹事長兼会計 森智世	副代表 萩谷	代表 滑川	立憲みと 副幹事長兼会計 中庭	幹事長 田中	団長 田中	日本共産党水戸市議団 副幹事長兼会計 田尻	幹事長 森木	副幹事長 鈴木	代代表 高倉	公明党水戸市議会 代表 黒木	会計 渡辺	副幹事長 細谷	幹事長 鬼澤	顧問 後藤	顧問 綿引	顧問 袴塚	顧問 水戸	顧問 大池	顧問 藤澤	副幹事長 マサ	幹事長 打越	会長代行 小泉	顧問 安藏	顧問 須田	相談役 田口	顧問 松本	顧問 須田	顧問 文勝	顧問 久明
------------------------	---------------	-----------	----------	-----------------------	-----------	----------	-----------------------------	-----------	------------	-----------	----------------------	----------	------------	-----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	------------	-----------	------------	----------	----------	-----------	----------	----------	----------	----------

## ハラスメントの防止に関する 研修会を開催しました

12月25日に議員を対象とした研修会を開催しました。令和6年3月に、市議会ハラスメントの根絶に関する条例を制定しており、本条例において、研修等の実施について規定しています。

当日は、外部講師をお招きし、防止対策や法的責任などについて学びました。引き続き、健全な議会運営をしていけるよう、全議員で共通認識を図りながら取り組んでいきます。



研修会の様子

## 議会中継等のご案内

インターネットでの本会議のライブ配信及び録画配信、常任委員会の録画配信を行っています。

常任委員会と特別委員会の会議記録も公開しています。ぜひご覧ください。



ライブ配信・録画配信



委員会会議記録

## 傍聴のご案内



本会議や委員会等の会議を傍聴いただけます。ご希望の方は、下記を参考にお越しください。

また、傍聴の流れを紹介する動画をHPに掲載しています。上記二次元コードからご覧ください。

	本会議	議会運営委員会、 常任委員会等	特別委員会等
定員	104名 (うち車椅子利用の方は4名)	5名	10名
受付場所	8階(傍聴席入口)	7階(議会議務局)	
手続き	・当日、先着順 ・傍聴券に住所、氏名を記入	・開議予定時刻の40分前～10分前までに受付 (定員を超えたときは抽選) ・委員会傍聴申請書に住所、氏名を記入	

## 3月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
2/23	24	25	26	27	28	3/1
2	3 本会議 (提案理由説明) 議案説明会	4	5	6	7	8
9	10 本会議 (代表質問)	11 本会議 (議案質疑) (一般質問)	12 本会議 (一般質問)	13 常任委員会	14 常任委員会	15
16	17 常任委員会	18 議会運営 委員会	19 議会運営 委員会 全員協議会 本会議 (議了)	20	21	22

\*3月4～9、15、16、18日は議案調査

## 編集委員会

委員長 森 正慶  
副委員長 鬼澤 真寿  
委員

池田 悠紀 大津 亮一 中庭由美子  
細谷 智宏 打越美和子 マーサー川又  
森 智世子 田尻由紀子 藤澤 康彦  
高倉富士男

## 編集後記



水戸市マスコットキャラクター

「みとちゃん」

11月22日「いい夫婦の日」に、議員や市民、総勢71名の視察団で台南市を訪問し、友好交流都市締結に至った。水戸出身の青年、杉浦茂峰氏が、さきの大戦にて命懸けで台南の人々を守り、長年神様として祭られてきたことを契機として交流を深めてきた両市。本議会にて、市長は「今後、様々な分野における交流を重ねていく」と表明された。杉浦氏は、どんな思いでこの締結を見守っているだろうか。

[池田 悠紀、大津 亮一、打越 美和子、  
マーサー川又、藤澤 康彦 記]

